

早明浦ダムは昭和50年4月に管理を始めて、50年目を迎えます。

早明浦ダムだよ！



早明浦ダム  
ホームページ

↑スマホはこちらから

令和6年度の早明浦ダム管理業務は次の内容を実施します。

●ダム周辺

ダムに異常がないかを確認するための点検や観測を行います。また、洪水調節用ゲートの整備や塗装工事を行います。

●貯水池周辺

水質調査、斜面観測、環境調査(昆虫)、貯水池にたまった土砂の量を測ります。また、貯水池にたまった土砂を取り除く工事を行います。

ダムの機能維持に必要な業務や工事になりますので引き続きご理解・ご協力のほど宜しくお願い致します。

★★SDGsの取り組み紹介(8)★★

13 気候変動に具体的な対策を



吉野川ダム総合管理所  
池田総合管理所  
SDGs  
持続可能な社会づくりを創出して

近年のゲリラ豪雨等の大規模出水に対応するため、洪水被害の防止や軽減を目的とした事前放流や、再生事業を行っています。

事前放流では、大規模出水を迎える前に貯水位を低下させ、ダムに溜め込むことができる治水容量をより多く確保し、吉野川下流域の洪水被害軽減に努めます。

再生事業では、洪水調節容量を増やすために、貯水容量変更や予備放流方式を導入するとともに、貯水位が低くても放流能力を確保できるよう、放流設備の増設等を行っています。

洪水対応演習のためサイレンが鳴ります

毎年洪水期前に、訓練と、機器の動作確認を兼ねて洪水対応演習を行っております。今年度は、4月23日(火)・24日(水)の2日間で行います。

演習は、実際の洪水を想定した実動訓練であり、ダム管理所では、洪水調節のシミュレーションや関係機関との情報伝達の他、河川巡視、警報所のスピーカーからの放送、サイレンの吹鳴を、本番さながらの演習を行います。

なお、実際の放流によるサイレンではありませんのでお間違えないようお願い致します。



河川巡視



警報所

早明浦ダムにドラゴンがいた！！

早明浦ダムのダム湖は、上空から見ると、竜の形に見えます。この竜が発見されたのは、2017年に落語家・漫画家の雷門獅篋(かみなりもんしかご)さんが飛行機から撮影したX(旧Twitter)投稿画像がWEB上で大きな話題となったのがきっかけです。

今年の干支は、「辰」です。また、早明浦ダムは50年目の節目の年になります。

良い年になりそうです・・・



写真提供:雷門獅篋氏

土佐町駅伝に参加しました！

1月7日に土佐町で恒例の駅伝大会に参加しました。1975年に始まり、新型コロナ禍での中止を挟みつつ、今年で50回目を迎えました。奇しくも早明浦ダム管理開始も同じ1975年ですので、何かご縁を感じます。

今回は、早明浦ダムチームと、当ダムの再生事業の工事受注建設会社も参加し、地域の皆様から温かいご声援を頂くとともに、駅伝を通じて、地域の皆様との交流が図れました。



☆☆ 再生事業からのお知らせ ☆☆

再生事業の工事見学会を開催！

（今後も地元イベントに合わせて実施予定）

令和5年12月3日（日）に、ふれあい広場で開催された第36回やまびこカーニバルに合わせて「早明浦ダム特別見学ツアー」を開催しました。当日は、ツアーの受付開始が10時からにもかかわらず開始前から順番待ちをされる方もおり、2回実施（20名定員）したツアーはいずれも満員御礼でした（最遠方は福島県からの参加でした）。

ツアー参加者のみなさんには、大林・佐藤JVおよび日立・IHI JVに全面的にご協力いただきました。ダム右岸展望台、作業構台、ダム上流と順番に移動して、クレーンや飽和潜水台船などを見学していただきました。



作業構台で説明を受ける参加者のみなさん



昭和50年4月より半世紀近くに渡り、四国のいのちを支え続けた早明浦ダムの一部

ツアーに参加いただいたみなさん（希望者）には、早明浦ダム再生事業の工事の際に発生したダムの一部（研り殻）を記念にお持ち帰りいただきました。

また、令和6年2月4日（日）に実施された土佐町主催のツアーにおいても、早明浦ダムの見学会を行いました。

当日は、早明浦ダム・高知分水管理所において、ダム管理および再生事業の概要説明後、工事現場に移動し工事の進捗状況についての説明を行いました。

今後も地元のイベントに合わせて見学会の開催を予定しておりますので、みなさんの参加をお待ちしております。



作業構台からの眺望を満喫

★ 早明浦ダム周辺のいきものたち(9) ★

水資源機構では、早明浦ダム周辺の環境調査を実施しており、調査で確認された動物・植物をシリーズで紹介していきます。今回はオンツツジを紹介いたします。



○オンツツジ（ツツジ科ツツジ属）  
オンツツジは、近畿地方南部、四国及び九州の日当たりのよい低山の岩場や海辺の林縁に生息している落葉性の木です。4月～5月に直径4 cmから6 cmほどの赤い花を葉の付け根付近につけます。

花は漏斗のような形をしており、木の高さは2 mから大きいものは6 mを超えます。葉は枝先に3枚ずつ輪状につきまします。また、葉は菱状円形から卵状円形で長さ5 cmから8 cm、幅2 cmから7 cmで葉先が鋭くとがります。

オンツツジは、ヤマツツジやフジツツジと比べ大型で花や葉が大きいことからオンツツジ（雄躑躅）と名がついています。



オンツツジ